

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--------|--|------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 31209 | 日本語表現法 Study of Japanese Linguistic Expressions | 河合龍二 | | 基礎 | 1 | 選択 | 1・2後期 |

科目の概要

同音異義語・同訓異字語・ことわざ・慣用句・敬語などの日本語の基本的な知識を修得するとともに、原稿用紙の使い方・手紙文の書き方・小論文・自己アピール文などの作成方法並びに音声表現のしかたを学ぶ。また、実践的課題とグループワークに取り組むことによって、正しい日本語表現力とコミュニケーション能力を身に付ける。(ディプロマ・ポリシー②③④⑤)

| 学修内容 | 到達目標 |
|---|---|
| ① 漢字・慣用句・敬語等を学ぶ。 ② 原稿用紙に自分の考えをまとめ、発表する。 ③ 文章を読解し、要約方法と課題解決策を考える。 ④ グループでコミュニケーションをとり、発表する。 ⑤ 全体の場合、堂々と自らの考えを表現する。 | ① 漢字・文法・敬語・語彙の小テストで8割正解できる。(ディプロマ・ポリシー②③) ② 要求字数の9割以上で文章を作成できる。(ディプロマ・ポリシー②③) ③ 課題を発見し、その解決方法を示すことができる。(ディプロマ・ポリシー②③) ④ 仲間と対話しつつ、よい点を評価し、考えを深めることができる。(ディプロマ・ポリシー④⑤) ⑤ 相手に伝わるように適切な言葉を選び、音声表現できる。(ディプロマ・ポリシー④⑤) |

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

| | | |
|---------|-------------|---|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 小論文演習・グループワーク・スピーチ等に、積極的に取り組むことができる。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | 小テストの予習・復習、授業での課題への取り組みを確実に進めていくことができる。 |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 文章や図表から、それぞれの課題が何であるかを発見し、確認・把握することができる。 |
| | 計画力 | |
| | 創造力 | 一般的・常識的見解を超えて、表現の工夫をして、独自の考えを発表できる。 |
| チームで働く力 | 発信力 | 読解してまとめた内容やグループワークの成果を、ポイントが伝わるように発表することができる。 |
| | 傾聴力 | 教員の講義の重点、他の学生の発表の要点、グループ内の発言の要点を的確につかみ、箇条書きでポイントを記述することができる。また、他の発表の長所を見抜き、的確な評価ができる。 |
| | 柔軟性 | |
| | 状況把握力 | |
| | 規律性 | 遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

テキスト：毎回、教員の作成したプリントで実施する。
 参考文献：講義中に随時紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
 資格との関連：なし

学修上の助言 **受講生とのルール**

「読む、書く、話す、聞く」の4技能をバランスよく鍛える。毎回、さまざまな文章を用意するので、配付されるプリントを熟読し、授業内容を理解するよう心がける。社会人として必要な日本語の知識を習得するため、適宜小テスト実施するので真摯に取り組むこと。

主体的に考え、課題に積極的に取り組み、表現力の向上に努めること。多様なものの見方・考え方ができるようになってほしい。配付プリントや振り返りシートは、ポートフォリオとして各自保管しておくこと。

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|--------|--------------|-----------------------|------|---------------------------------|---|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 50 | ① | ✓ | 漢字・語彙・文章表現に誤りがない。 課題となる長文を決められた字数で要約できる。 文章を読解して自らの課題を見付け、思考の整理をして相手に伝わる表現ができる。 敬語の種類・適切な使用ができる。 課題解決の問題により、pisa型学力を身に付けることができる。 | |
| | | | ② | ✓ | | |
| | | | ③ | ✓ | | |
| | | | ④ | ✓ | | |
| | | | ⑤ | ✓ | | |
| | 平常評価 | 小テスト | 20 | ① | ✓ | 授業の初めに実施する文章表現（語彙・漢字・文法・敬語等）の小テストの得点を評価に加える。 |
| | | | | ② | | |
| | | | | ③ | | |
| | | | | ④ | | |
| | | | | ⑤ | | |
| | | レポート | 10 | ① | | 振り返りシートに、何を学んで今の自分に何が足りないかを記述する。それを蓄積し、常に自らの学修を調整している。 |
| | | | | ② | ✓ | |
| | | | | ③ | ✓ | |
| | | | | ④ | ✓ | |
| | | | | ⑤ | ✓ | |
| | | 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | 10 | ① | ✓ | ルーブリックに照らし、相手に伝わる音声表現ができる。 一文が簡潔で分かりやすい。 自らの独自の観点が示され、内容が優れている。 内容が充実してまとまりがあり、声がよく届き、分かりやすい発表である。 他の発表の長所を箇条書きでまとめて評価し、フィードバックする。その過程で、pisa型学力を身に付けることができる。 |
| | | | | ② | ✓ | |
| | | | | ③ | ✓ | |
| | | | | ④ | ✓ | |
| | | | | ⑤ | ✓ | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | （主体性）小論文・作文演習などに、積極的に取り組むことができる。 （実行力）目標への取り組みを確実に進めていくことができる。 （課題発見力）文章・図表から課題を発見し、解決策を考察する。 （創造力）文章・図表を踏まえて、独自の解決策を提案できる。 （発信力）聞き手に分かりやすく、自らの考えを発表できる。 （傾聴力）他者の話を聞き、課題を考察し理解を深めることができる。 （規律性）無断遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 | |
| | | | ② | ✓ | | |
| | | | ③ | ✓ | | |
| | | | ④ | ✓ | | |
| | | | ⑤ | ✓ | | |
| 総合評価割合 | | 100 | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|--|
| <p>Sは、作文・議論・知識などが高度な内容である。具体的には、文章表現において、誤字・脱字がなく、要求字数の9割以上で要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、内容も的確である。演習・グループ学習とも積極的に、自己主張のみでなく、他者を配慮した議論が進められる。聞きやすく、説得力のある表現ができる。敬語の種類や漢字・慣用句などの語彙を9割以上マスターできている。試験・小テストの正解率が9割以上である。</p> <p>Aは、Sとほぼ同様であるが、敬語の種類や漢字・慣用句などの語彙を8割以上マスターできている。・試験・小テストの正解率が8割以上である。</p> | <p>Bは、作文・議論・知識などがまずまずの内容である。具体的には、文章表現において、誤字・脱字が2か所以内にとどまり、要求字数の8割以上で要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、ほぼ内容の過ちはない。演習・グループ学習ともよく加わり、進行に貢献する役割を果たすことができる。聞きやすく、ほぼ内容が分かる表現ができる。</p> <p>敬語の種類・語彙を7割以上マスターできている。試験・小テストの正解率が7割以上である。</p> <p>Cは、Bとほぼ同様であるが、敬語の種類・語彙を6割以上マスターでき、試験・小テストの正解率が6割以上である。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|---|---|---|--|-------|--|
| 1 | オリエンテーション 文章表現の基礎として、原稿用紙の使い方を学ぶ。 小テストの計画・方法を確認する。 新聞語彙Ⅰ | シラバスと社会人基礎力をはぐくむ学泉ノートを参照し、授業ねらいと小テスト、予習復習について説明する。語彙力を増やすための工夫について考え、演習をする。PCを用いて調べ学習をする。1年生は調べた語句を「オリジナル辞書」としてPCフォルダに蓄積しておく。(以下同じ) | 語彙力を身に付ける工夫を提案できる。 新聞を読めるレベルまで、自らを高めようとする意欲をもつことができる。 | (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 2 | 新聞語彙Ⅱ 新聞を読み、日常言語と専門用語について、理解を深める。 | 講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 | 小テスト「誤りやすい漢字」の正答率は、6割以上である。 新聞を読めるレベルまで、自らを高めようとする意欲をもつことができる。 | (予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 3 | 新聞語彙Ⅲ 現代に残る古語① 童謡や唱歌、ことわざや慣用句にある古語を発見し、理解を深める。 | 小テスト・講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する | 小テスト「ことわざ、慣用句」の正答率は、6割以上である。 古語を通して日本の伝統文化や感性を知る。 | (予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 4 | 新聞語彙Ⅳ 現代に残る古語② かるたや百人一首で古語の響きを知り、理解を深める。 | 講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する | 小テスト「百人一首」の正答率は、6割以上である。 古語を通して日本の伝統文化や感性を知る。 | (予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 5 | 新聞語彙Ⅴ 現代に残る漢語① ことわざや故事成語にある漢語を発見し、理解を深める。 | 講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 | 小テスト「故事成語」の正答率は、6割以上である。 漢語を通して日本の伝統文化や徳性を知る。 | (予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 6 | 新聞語彙Ⅵ 現代に残る漢語② 歌謡曲やアニメソング等にある漢語を発見し、理解を深める。 | 講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 | 小テスト「四字熟語」の正答率は、6割以上である。 漢語を通して日本の伝統文化や徳性を知る。 | (予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 |
| 7 | 文章表現① 手紙の書き方 手紙の形式を中心に、伝え方の工夫を学ぶ。 | 講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 | 小テスト「難読語1」の正答率は、6割以上である。 | (予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 実行力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 8 | 文章表現② エッセイ、韻文の書き方 創作し、発表する。 | 講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 | 小テスト「難読語2」の正答率は、6割以上である。 | (予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|---|---|---|-------|--|
| 9 | 文章表現③ 小論文の書き方 根拠を明確にして、論理的文章を書く。グループワークで意見交換しながら課題を確認し、ブラッシュアップをする。 紙上対話Ⅰ | 講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 紙上対話(お手紙まわし)で即座の言語化、表現力と読解力を磨く。 | 小テスト「同音異義語」の正答率は、6割以上である。 | (予習) 紙上対話(お手紙まわし)の独自テーマを決めておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 文章表現④ 批評(書評)の書き方 クリティカル・シンキングの発想で批評をする。グループワークで意見交換しながら課題を確認し、ブラッシュアップをする。 紙上対話Ⅱ | 講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 紙上対話(お手紙まわし)で即座の言語化、表現力と読解力を磨く。 | 小テスト「同訓異字語」の正答率は、6割以上である。 | (予習) 紙上対話(お手紙まわし)の独自テーマを決めておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 |
| 11 | 音声表現① 朗読・アナウンスの基本を身に付ける。 発音、発声、イントネーション、アクセント等。 紙上対話Ⅲ | 講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 紙上対話(お手紙まわし)で即座の言語化、表現力と読解力を磨く。 | 小テスト「敬語1」の正答率は、6割以上である。 | (予習) 紙上対話(お手紙まわし)の独自テーマを決めておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 12 | 音声表現② 朗読・アナウンスの表現方法を身に付ける。 ポーズ、卓立、無声化等。 紙上対話Ⅳ | 講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。 紙上対話(お手紙まわし)で即座の言語化、表現力と読解力を磨く。 | 小テスト「敬語2」の正答率は、6割以上である。 朗読又はアナウンスの実践で、内容が映像として把握できる。 | (予習) 紙上対話(お手紙まわし)の独自テーマを決めておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。 | 90 | 実行力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 13 | 音声表現③ 敬語表現を含め、「自己有用感」をテーマとした3分スピーチ原稿を作成する。 紙上対話Ⅴ | 個人ワーク 身振り手振り等のノンバーバルな表現も工夫する。 紙上対話(お手紙まわし)で即座の言語化、表現力と読解力を磨く。 | スピーチ原稿を完成できる。 「SDS」「PREP」「KPT」等の文章構成でスピーチ原稿を完成できる。 | (予習) 紙上対話(お手紙まわし)の独自テーマを決めておく。 (復習) 3分スピーチの予行練習をする。 | 90 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性 |
| 14 | 音声表現④ 発表 3分スピーチ 自己の長所を強調し、自己有用感をもって堂々と自己PRを作成する。 | 一人ずつ、全体に向けてスピーチをする。 聴く側は、長所を評価して記述する。 | ループリックに照らしてスピーチをし、自己評価及び相互評価が「おおむね満足」となる。 | (予習) スピーチ練習をしておく。 (復習) 振り返りシートで、自己評価をする。また、他のスピーチを聴いた発見をまとめる。 | 90 | 主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 15 | オンデマンド 前回(3分スピーチ)の振り返りと総評 | 視聴とレポート提出 レポート内容は、期末試験に直結する内容とする。 | ループリックに照らしてスピーチをし、自己評価及び相互評価が「おおむね満足」となる。 | (復習) 期末試験に向けた文章表現・敬語表現・小テストの課題の総復習をする。 | 90 | 主体性 課題発見力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力